

付録1 技術基準の一覧

無線設備 試験項目等		小電力セキュリティ																	
電波の型式		F1D、F2D、G1D																	
割当周波数又は指定周波数帯		426.25MHz～426.8375MHz																	
チャネルの数又は間隔		タイプ1及び2 ; チャネル数: 48 間隔: 12.5kHz タイプ3及び4 ; チャネル数: 24 間隔: 25kHz																	
周波数の許容偏差		タイプ2及び4 ; 4×10^{-6} タイプ1及び3 ; 10×10^{-6}																	
占有周波数帯幅の許容値		16kHz																	
スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値		2.5μW以下																	
空中線電力	指定値	1W以下 (注)																	
	許容偏差	+20% -50%																	
隣接チャネル漏洩電力の許容値		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>測定条件</th> <th>許容値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 占有周波数帯幅 4kHz以下 (タイプ1)</td> <td>間隔 12.5kHz 帯域 ±2kHz</td> <td>-40dBc</td> </tr> <tr> <td>② 占有周波数帯幅 4kHz超え 8.5kHz以下 (タイプ2)</td> <td>間隔 12.5kHz 帯域 ±4.25kHz</td> <td>-40dBc</td> </tr> <tr> <td>③ 占有周波数帯幅 8.5kHz超え 12kHz以下 (タイプ3)</td> <td>間隔 25kHz 帯域 ±6kHz</td> <td>-40dBc</td> </tr> <tr> <td>④ 占有周波数帯幅 12kHz超え 16kHz以下 (タイプ4)</td> <td>間隔 25kHz 帯域 ±8kHz</td> <td>-40dBc</td> </tr> </tbody> </table>			対象設備	測定条件	許容値	① 占有周波数帯幅 4kHz以下 (タイプ1)	間隔 12.5kHz 帯域 ±2kHz	-40dBc	② 占有周波数帯幅 4kHz超え 8.5kHz以下 (タイプ2)	間隔 12.5kHz 帯域 ±4.25kHz	-40dBc	③ 占有周波数帯幅 8.5kHz超え 12kHz以下 (タイプ3)	間隔 25kHz 帯域 ±6kHz	-40dBc	④ 占有周波数帯幅 12kHz超え 16kHz以下 (タイプ4)	間隔 25kHz 帯域 ±8kHz	-40dBc
対象設備	測定条件	許容値																	
① 占有周波数帯幅 4kHz以下 (タイプ1)	間隔 12.5kHz 帯域 ±2kHz	-40dBc																	
② 占有周波数帯幅 4kHz超え 8.5kHz以下 (タイプ2)	間隔 12.5kHz 帯域 ±4.25kHz	-40dBc																	
③ 占有周波数帯幅 8.5kHz超え 12kHz以下 (タイプ3)	間隔 25kHz 帯域 ±6kHz	-40dBc																	
④ 占有周波数帯幅 12kHz超え 16kHz以下 (タイプ4)	間隔 25kHz 帯域 ±8kHz	-40dBc																	
副次的に発する電波等の限度		4nW以下																	
その他の装置	混信防止機能	識別符号を自動的に送信し、又は受信するもの																	
	送信時間制限装置	電波を発射してから3秒以内にその発射を停止し、かつ、2秒を経過した後でなければその送信を行わないものであること。ただし、最初に電波を発射してから3秒以内に再送信を行う場合は、送信休止時間を設けずに送信を行うことができる。																	
送信空中線の絶対利得		送信空中線が一の筐体に収められていない無線設備: 0dB以上 送信空中線が一の筐体に収められている無線設備 : 2.14dB以下 (等価等方輻射電力 12.14dBmからの低下分を空中線の利得で補うことができる。)																	

注: 等価等方輻射電力 12.14dBm以下